



新興プランテック株式会社

# 決算説明会資料

平成27年3月期

# 目次

1. 27年3月期の事業環境	.....	3	10. 貸借対照表	.....	12
2. 27年3月期の業績概要	.....	4	11. キャッシュ・フロー	.....	13
3. 受注高の工事種類別内訳	.....	5	12. 28年3月期の事業環境の見通し概況	.....	14
4. 完成工事高の工事種類別内訳	.....	6	13. 28年3月期の業績見通し	.....	15
5. 受注残高	.....	7	14. 受注高および完成工事高の内訳	.....	16
6. 総利益	.....	8	15. 配当について	.....	17
7. 営業利益	.....	9	16. 第5次中期計画の進捗状況について	.....	18
8. 営業外損益・経常利益	.....	10			
9. 特別損益・当期純利益	.....	11			

- 消費税率の引き上げによる駆け込み需要の反動減や在庫の調整が続く状況でのスタート。
- 年間を通じて大企業を中心に企業収益や設備投資が改善傾向を示す。
- 雇用・所得環境が改善し、個人消費が徐々に持ち直すなど、全体的には緩やかな回復基調の中で推移。
- 海外経済では、先進国を中心として緩やかな回復傾向。
- 主要顧客では、国内需要の低迷や急激な原油価格の下落などの影響で、厳しい収益環境。メンテナンス投資およびプラント建設投資は、年間を通じ抑制基調
- 石油業界では「エネルギー供給構造高度化法」への対応による設備削減や石油業界再編・提携が徐々に具体化。
- 石油化学業界でもエチレン設備をはじめとする過剰設備の廃止・不採算事業の撤退、新たな成長分野への投資など競争力強化に向けた計画を進展。
- プラント市場の全体的な縮小傾向や同業他社との競争が激化する事業環境。
- 前期（平成 26 年 3 月期）よりも増加した定期修理工事やプラントの老朽化対策・事故防止対策・安定稼働のためのメンテナンス投資、精製能力の削減や設備廃止に伴う改造・改修工事などの投資需要の受注確保に努める。

## 2. 27年3月期の業績概要（連結）

(参考)

(単位：百万円)

	H26.3月期	H27.3月期	前期比	増減率
受注高	81,766	86,374	+4,608	+5.6%
完成工事高	76,275	85,241	+8,966	+11.8%
総利益	7,947	8,354	+406	+5.1%
(率)	10.4%	9.8%	-0.6%	-
一般管理費	3,667	3,726	+58	+1.6%
(率)	4.8%	4.4%	-0.4%	-
営業利益	4,280	4,628	+348	+8.1%
(率)	5.6%	5.4%	-0.2%	-
経常利益	4,458	5,063	+604	+13.6%
(率)	5.8%	5.9%	+0.1%	-
当期純利益	2,544	3,006	+462	+18.2%
(率)	3.3%	3.5%	+0.2%	-
1株当り当期純利益	55.03円	65.04円	+10.01円	+18.2%
受注残高	21,871	23,373	+1,501	+6.9%

(単位：百万円)

予想発表値（11月6日発表）	差異	
	差異	増減率
86,000	+374	+0.4%
83,000	+2,241	+2.7%
8,400	-45	-0.5%
10.1%	-0.3%	-
3,800	-73	-1.9%
4.6%	-0.2%	-
4,600	+28	+0.6%
5.5%	-0.1%	-
4,750	+313	+6.6%
5.7%	+0.2%	-
2,800	+206	+7.4%
3.4%	+0.2%	-

※上記の率は27年3月期実績値との増減比です。

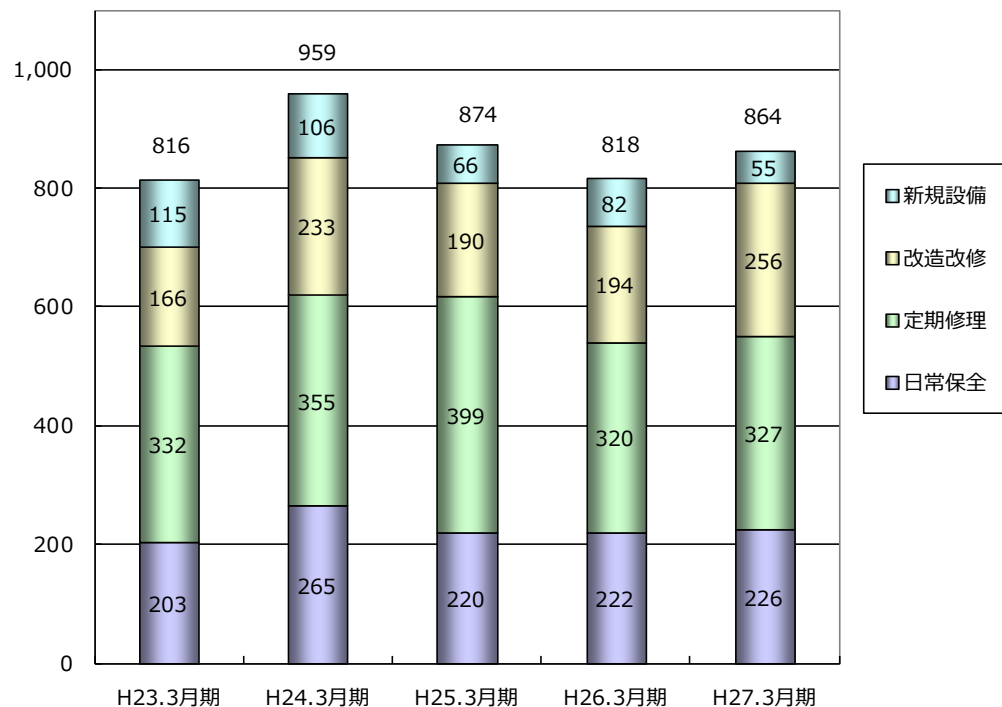
### 3. 受注高の工事種類別内訳（連結）

(単位：百万円)

受注高	H26.3月期	H27.3月期	前期比	増減率	11/6予想値	予想比	増減率
日常保全工事	22,178	22,563	+384	+1.7%	22,000	+563	+2.6%
定期修理工事	31,995	32,686	+690	+2.2%	32,000	+686	+2.1%
改造改修工事	19,391	25,580	+6,189	+31.9%	21,500	+4,080	+19.0%
新規設備工事	8,200	5,544	-2,655	-32.4%	10,500	-4,955	-47.2%
エンジニアリング業	81,766	86,374	+4,608	+5.6%	86,000	+374	+0.4%

(億円)

過去5年間の受注高の推移



● 受注高は前期比で46億円の増加  
ほぼ修正予想値のとおり

【日常保全工事】

① 前期並み。ほぼ予想値のとおり

【定期修理工事】

① 前期に当期の定期修理工事を一部受注したため、ほぼ前期と同額

【改造・改修工事】

① タンク工事の増加、老朽化対策などの改造工事の件数が増加

【新規設備工事】

① 競争の激化による失注  
② 案件の延期

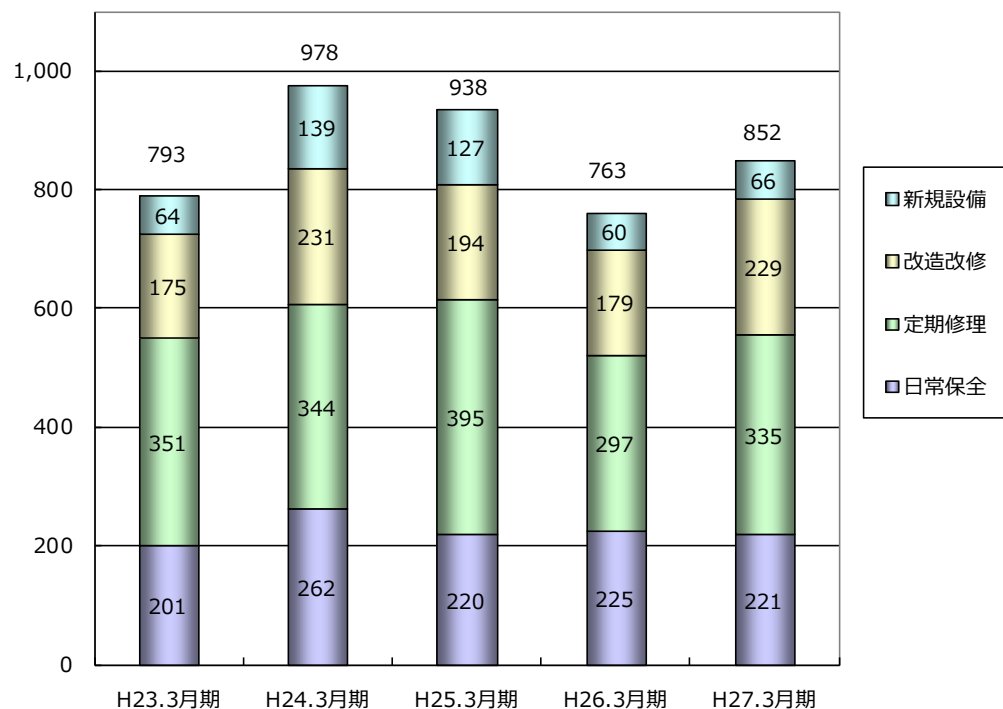
## 4. 完成工事高の工事種類別内訳（連結）

(単位：百万円)

完成工事高	H26.3月期	H27.3月期	前期比	増減率	11/6予想値	予想比	増減率
日常保全工事	22,511	22,107	-404	-1.8%	22,000	+107	+0.5%
定期修理工事	29,661	33,458	+3,796	+12.8%	33,500	-41	-0.1%
改造改修工事	17,882	22,926	+5,044	+28.2%	20,300	+2,626	+12.9%
新規設備工事	6,034	6,573	+538	+8.9%	7,000	-426	-6.1%
エンジニアリング業	76,089	85,065	+8,975	+11.8%	82,800	+2,265	+2.7%
その他事業	185	176	-9	-5.1%	200	-23	-12.0%
合計	76,275	85,241	+8,966	+11.8%	83,000	+2,241	+2.7%

(億円)

過去5年間の完成工事高の推移



● 完成工事高は前期比で89億円の増加  
修正予想値に対し、22億円の増加

### 【日常保全工事】

① 前期並み。ほぼ予想値のとおり

### 【定期修理工事】

- ① 前期は定期修理工事の端境期であったが当期は多い年度
- ② 未参入であった工場の定期修理工事が完工
- ③ 大型工事の工事量増加と1件当たりの工事規模が拡大

### 【改造・改修工事】

① タンク工事の増加、老朽化対策などの改造工事の件数が増加

### 【新規設備工事】

① 想定した新規設備工事の進捗により、ほぼ予想値の通り

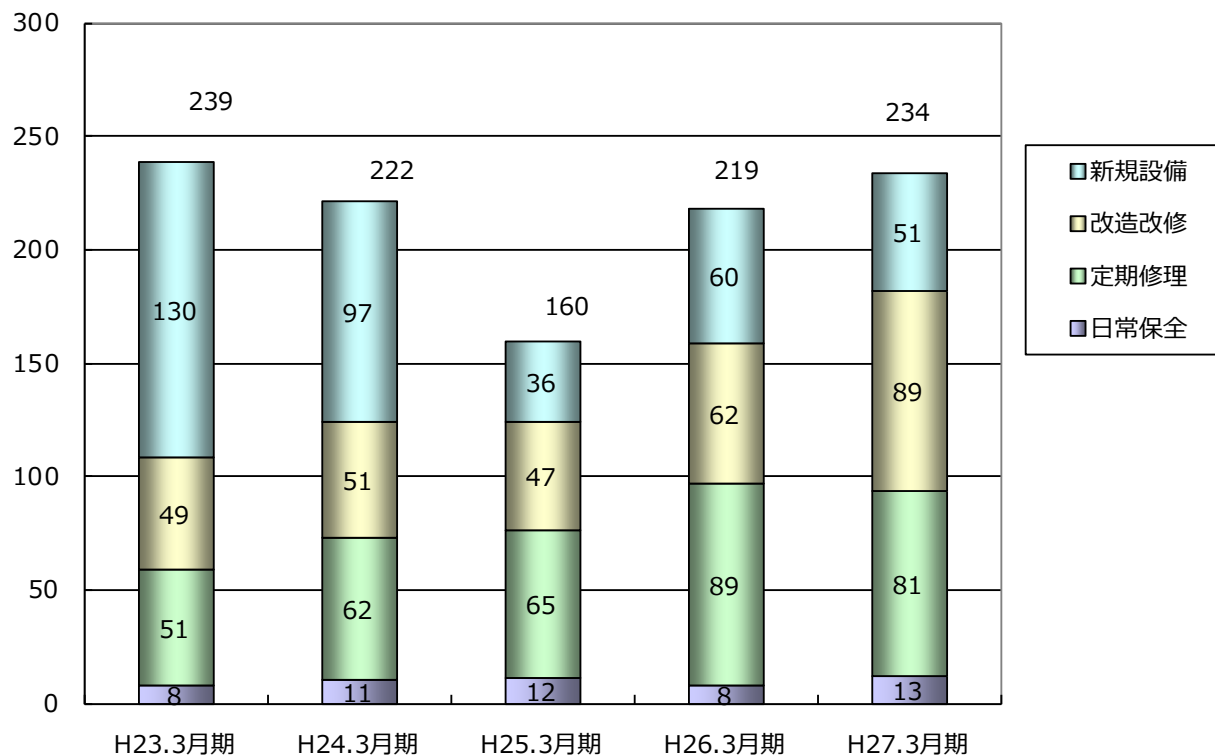
# 5. 受注残高（連結）

【過去5年間の受注残高の推移】

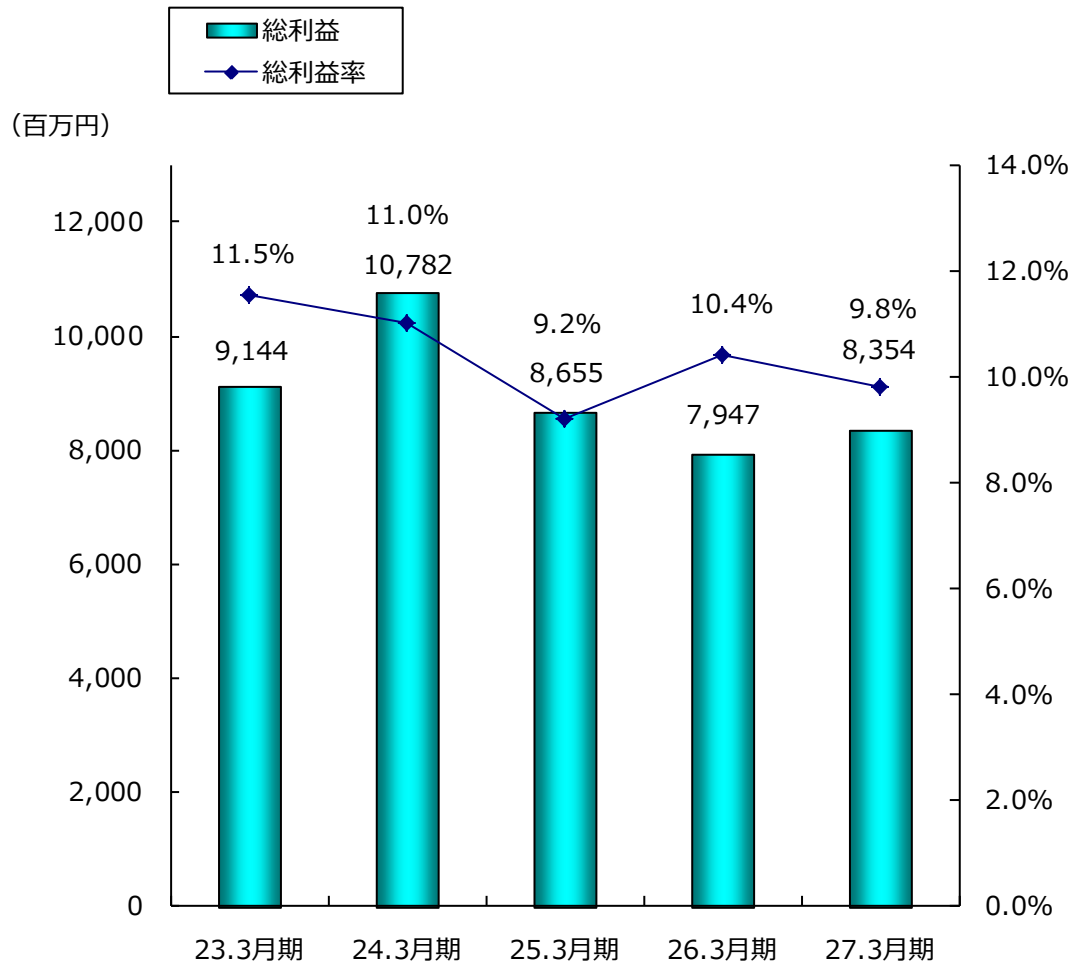
(単位：百万円)

	H23.3月期	H24.3月期	H25.3月期	H26.3月期	H27.3月期
日常保全工事	798	1,096	1,153	820	1,275
定期修理工事	5,146	6,219	6,542	8,876	8,104
改造改修工事	4,913	5,145	4,709	6,218	8,873
新規設備工事	13,046	9,697	3,599	5,954	5,118
合計	23,904	22,158	16,005	21,871	23,373

(億円)



## 6. 総利益（連結）



● 総利益は4億円。前期比 5.1%の増加

● 総利益率は 10.4%から 9.8%へ0.6ポイント低下

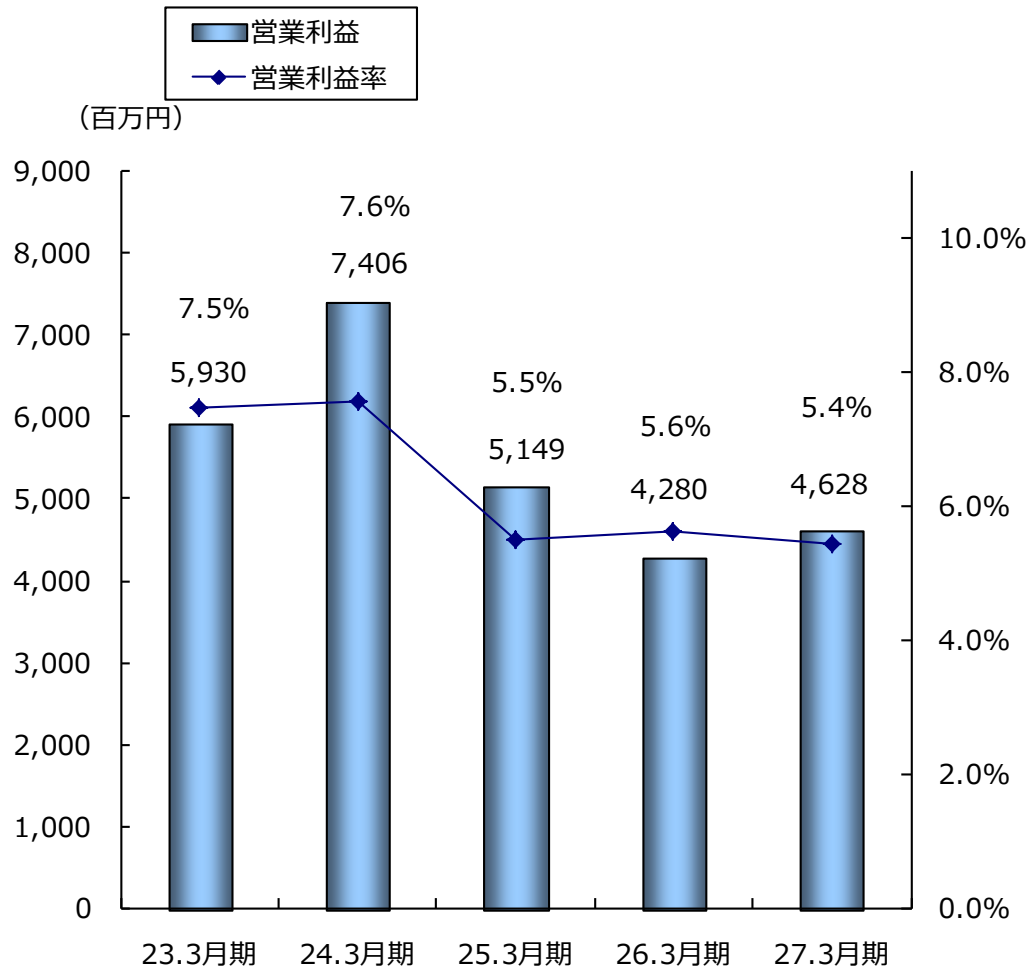
要因：

● 景気回復に伴う材料価格や人件費、外注加工費の上昇

● 競争で受注した新規設備工事が低利益率



## 7. 営業利益（連結）



- 営業利益は3億4千万円。前期比8.1%の増加
- 営業利益率は5.6%から5.4%へ0.2ポイント低下
- 一般管理費は前期並み

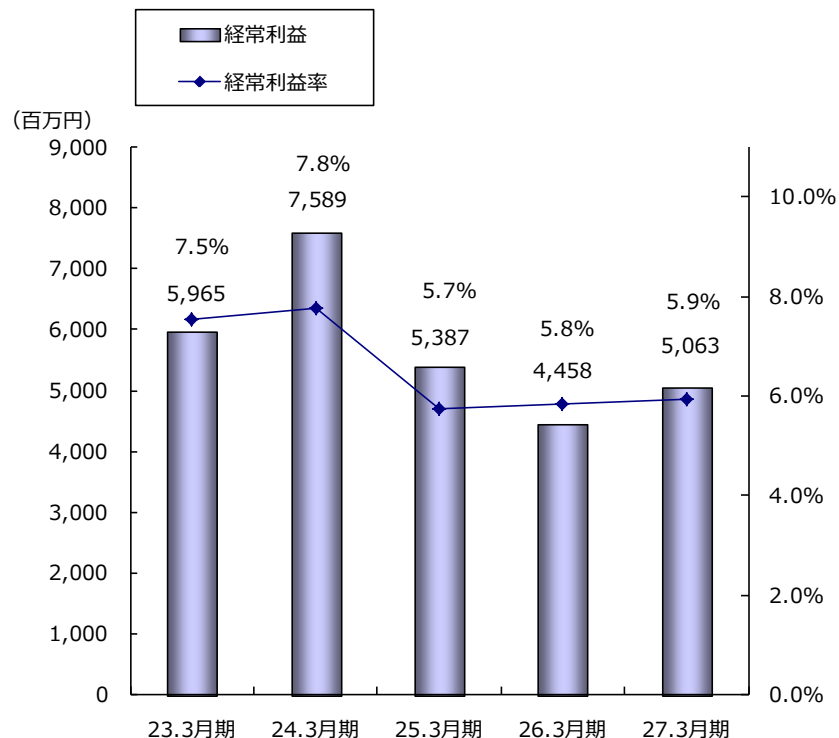
## 8. 営業外損益・経常利益（連結）

### 【営業外損益】

(単位：百万円)

	H26.3月期	H27.3月期	前期比
【営業外収益】			
受取利息	6	10	+4
受取配当金	88	93	+5
受取賃借料	168	156	-11
為替差益	40	278	+238
その他	55	85	+29
計	358	623	+265
【営業外費用】			
支払利息	32	25	-6
賃貸費用	24	24	
売上割引	96	93	-3
その他	27	46	+18
計	179	188	+8
【営業外損益】	+178	+435	+256

### 【経常利益】



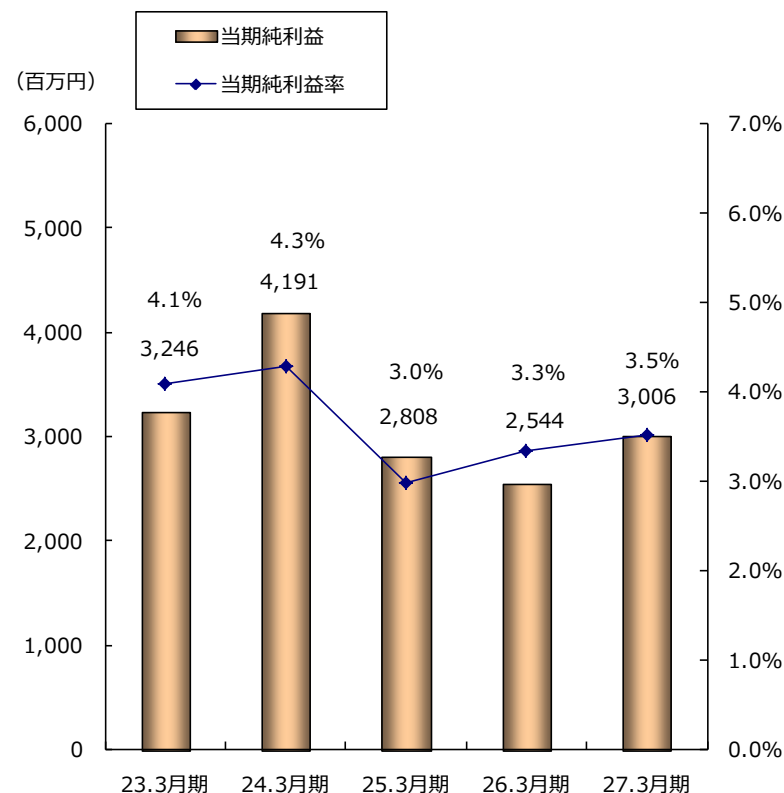
- 経常利益は6億円。前期比 13.6%の増加
- 経常利益率は5.8%から5.9%へ0.1ポイント改善
- 円安による為替差益を計上

## 【特別損益】

(単位：百万円)

	H26.3月期	H27.3月期	前期比
【特別利益】			
固定資産売却益	11	122	+110
投資有価証券売却益	13	100	+86
計	25	222	+197
【特別損失】			
固定資産売却損	0	0	+0
固定資産除却損	6	2	-3
ゴルフクラブ入会金評価損	0	3	+2
計	6	6	+0
【特別損益】	+18	+216	+197

## 【当期純利益】



- 当期純利益は4億6千万円。前期比 18.2%の増加。
- 当期純利益率は3.3%から3.5%へ0.2ポイント改善
- 固定資産売却益・投資有価証券売却益を計上

# 10. 貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)

	H26.3月期		H27.3月期		増減		H26.3月期		H27.3月期		増減
	実績	構成比	実績	構成比			実績	構成比	実績	構成比	
【流動資産】	44,109	72.9%	53,089	76.7%	+8,981	【流動負債】	25,475	42.1%	31,798	46.0%	+6,323
現金預金	12,426	20.5%	17,325	25.0%	+4,899	支払手形及び 工事未払金	20,918	34.6%	24,333	35.2%	+3,415
受取手形及び 完成工事未収入金	23,048	38.1%	24,284	35.1%	+1,236	短期借入金	574	0.9%	486	0.7%	-88
未成工事支出金	7,492	12.4%	7,375	10.7%	-117	未成工事受入金	677	1.1%	1,814	2.6%	+1,137
その他	1,141	1.9%	4,103	5.9%	+2,962	その他	3,304	5.5%	5,163	7.5%	+1,859
【固定資産】	16,380	27.1%	16,090	23.3%	-290	【固定負債】	2,117	3.5%	1,953	2.8%	-164
有形固定資産	11,592	19.2%	11,321	16.4%	-270	長期借入金	167	0.3%	209	0.3%	+42
無形固定資産	189	0.3%	189	0.3%		退職給付引当金					+1
投資その他の資産	4,597	7.6%	4,579	6.6%	-19	退職給付に係る負債	1,578	2.6%	1,424	2.1%	-154
						その他	371	0.6%	318	0.5%	-52
						【負債合計】	27,593	45.6%	33,751	48.8%	+6,159
						【純資産】	32,896	54.4%	35,428	51.2%	+2,531
						(内 少数株主持分)	(462)	(0.8%)	(490)	(0.7%)	+28
【資産合計】	60,489	100.0%	69,180	100.0%	+8,691	【負債・純資産合計】	60,489	100.0%	69,180	100.0%	+8,691

※ 自己資本比率 (連結)

50.5%

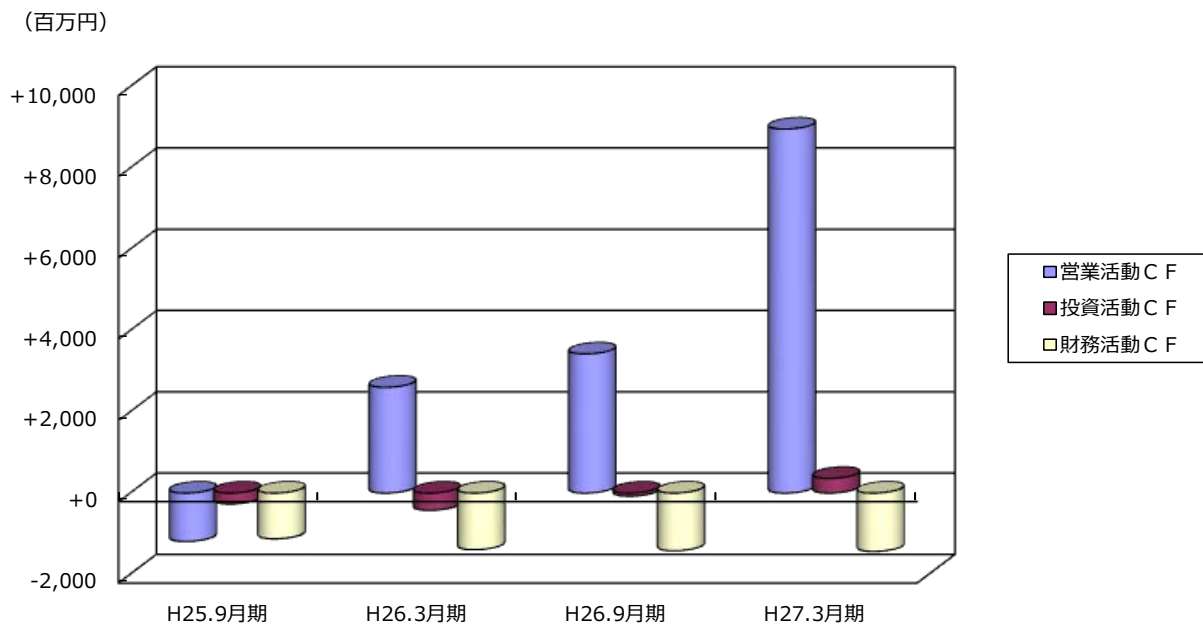
自己資本当期純利益率 (ROE・連結)

8.9%

# 11. キャッシュ・フロー（連結）

(単位：百万円)

	H25.9月期	H26.3月期	H26.9月期	H27.3月期
営業活動 C F	-1,189	+2,603	+3,425	+8,958
投資活動 C F	-267	-424	-75	+361
財務活動 C F	-1,125	-1,392	-1,419	-1,435
現金及び現金同等物に係る換算差額	+15	+21	+5	+58
現金及び現金同等物の増減額	-2,567	+807	+1,936	+7,943



- 石油・石油化学業界は、依然として国内の石油製品の需要減少や国際的な競争環境の中で収益環境も不透明な状況。
- メンテナンス費用および設備投資の抑制基調は継続
- 定期修理工事は27年3月期よりも更に増加の予想
- プラントの老朽化・事故防止・安定稼働などのプラント強靱化対策工事や精製能力の削減や設備廃止に伴う改造・改修工事に期待
- コンビナート連携による新投資工事、競争力のある製品生産のための新規プラント建設工事を見込む
- 第5次中期計画に掲げた「既存顧客に対するメンテナンスシェア拡大」、「新規分野・新規顧客の開拓」「海外事業の基盤強化」の事業戦略目標の達成に向け、各種諸施策を実施。
- 28年3月期は、第5次中期計画の最終年度にあたるが、第5次中期計画の設定当初に掲げた28年3月期の「業績計画」について、業績見通しの通り修正。

# 13. 28年3月期の業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	中 間 期				通 期			
	H26.9実績	H27.9予想	増減	増減率	H27.3実績	H28.3予想	増減	増減率
受 注 高	43,106	48,000	+4,893	+11.4%	86,374	95,000	+8,625	+10.0%
完 成 工 事 高	42,881	46,000	+3,118	+7.3%	85,241	90,000	+4,758	+5.6%
総 利 益	4,698	4,700	+1	+0.0%	8,354	9,000	+645	+7.7%
（率）	11.0%	10.2%	-0.7%	-	9.8%	10.0%	+0.2%	-
一 般 管 理 費	1,929	1,900	-29	-1.5%	3,726	3,800	+73	+2.0%
（率）	4.5%	4.1%	-0.4%	-	4.4%	4.2%	-0.1%	-
営 業 利 益	2,768	2,800	+31	+1.1%	4,628	5,200	+571	+12.4%
（率）	6.5%	6.1%	-0.4%	-	5.4%	5.8%	+0.3%	-
経 常 利 益	2,919	2,860	-59	-2.0%	5,063	5,300	+236	+4.7%
（率）	6.8%	6.2%	-0.6%	-	5.9%	5.9%	-0.1%	-
当 期 利 益	1,719	1,700	-19	-1.1%	3,006	3,200	+193	+6.4%
（率）	4.0%	3.7%	-0.3%	-	3.5%	3.6%	+0.0%	-
1株当り当期(中間)純利益	37.20円	36.77円	-0.43円	-1.2%	65.04円	69.22円	+4.18円	+6.4%
受 注 残 高	22,070	25,473	+3,402	+15.4%	23,373	28,573	+5,200	+22.2%

# 14. 受注高および完成工事高の内訳（連結）

## 受注高

（単位：百万円）

	平成27年3月期	平成28年3月期			増減	増減率
	通期	上期	下期	通期		
日常保全工事	22,563	11,000	11,000	22,000	-563	-2.5%
定期修理工事	32,686	15,500	19,500	35,000	+2,314	+7.1%
改造改修工事	25,580	12,500	10,500	23,000	-2,580	-10.1%
新規設備工事	5,544	9,000	6,000	15,000	+9,456	+170.6%
エンジニアリング業	86,374	48,000	47,000	95,000	+8,626	+10.0%

## 完成工事高

（単位：百万円）

	平成27年3月期	平成28年3月期			増減	増減率
	通期	上期	下期	通期		
日常保全工事	22,107	11,000	11,000	22,000	-107	-0.5%
定期修理工事	33,458	20,000	15,000	35,000	+1,542	+4.6%
改造改修工事	22,926	11,500	11,500	23,000	+74	+0.3%
新規設備工事	6,573	3,400	6,400	9,800	+3,227	+49.1%
エンジニアリング業	85,065	45,900	43,900	89,800	+4,735	+5.6%
その他事業	176	100	100	200	+24	+13.6%
合計	85,241	46,000	44,000	90,000	+4,759	+5.6%



### 配当に関する基本認識

当社グループの事業は、石油・石油化学等のプラント関連のメンテナンスを基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。このような事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであると考えております。

### 配当方針

株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考えておりますが、配当の継続性および安定性という面にも充分留意した上で、30%以上の配当性向（連結）を目標としております。

### 平成27年3月期配当予定

- 期末配当30円

### 平成28年3月期配当予想

- 期末配当30円

# 16. 第5次中期計画の進捗状況について

## 第5次中期計画（2013年度～2015年度）の位置づけ

『全ての設備に対応できるエンジニアリング能力のある「総合プラントメンテナンス企業」』を目指し、「事業ポートフォリオの変革」に向けた第2ステップ

### 経営ビジョン

- ①「One to One Maintenance」を事業コンセプトに、お客様のニーズに対して安全・安心で高品質な最適のサービスを提供することで、社会・顧客から信頼、満足される企業を目指す。
- ②石油・石油化学分野でトップシェアを維持するとともに、一般工業分野での事業を拡張し、あらゆる設備に対応できるエンジニアリング能力を備えた「総合プラントメンテナンス企業」として、成長し続ける。
- ③中国および東南アジアを中心とした海外事業の基盤強化に継続して取り組み、国内と同様のサービス提供によるグローバル化にチャレンジする。

### 事業戦略目標

#### 1. 既存顧客に対するメンテナンスシェア拡大

- ・ 既存顧客における工場内での仕事幅の拡大
- ・ 顧客動向、設備計画に対応した改造・新設工事等の受注拡大

#### 2. 新規分野・新規顧客の開拓

- ・ 過去取引のあった分野、顧客の掘り起こしによる受注拡大
- ・ 未参入地区、未参入工場に対する営業の強化と受注獲得
- ・ エンジニアリング能力・技術を活用した改造・新設工事等の受注拡大
- ・ 食品、ガス（LNG）、電力分野を重点攻略分野とした受注拡大

#### 3. 海外事業の基盤強化

- ・ 中国、東南アジアを中心とした中小型のEPC案件の受注獲得
- ・ 海外メンテナンス事業への本格参入・展開を目標とした戦略案件の受注獲得
- ・ 海外拠点の整備およびプロジェクト運営体制の強化による海外事業の拡充・安定化

# 第5次中期計画 連結業績計画の修正

## 第5次 中期計画（2013年度～2015年度） 連結業績計画

	1年目		2年目		3年目（第5次中期計画 最終年度）	
	2013年度実績 (H26年3月期)	2014年度実績 (H27年3月期)	2015年度目標 (H28年3月期) 平成25年5月公表	2015年度見通し (H28年3月期) 平成27年5月公表	修正	2015年度見通し (H28年3月期) 平成27年5月公表
受注高	817億円	863億円	1,000億円	950億円		
完成工事高	762億円	852億円	1,000億円	900億円		
営業利益	42.8億円	46.2億円	82.0億円	52.0億円		
(率)	5.6%	5.4%	8.2%	5.8%		
経常利益	44.5億円	50.6億円	83.0億円	53.0億円		
(率)	5.8%	5.9%	8.3%	5.9%		
当期純利益	25.4億円	30.0億円	50.0億円	32.0億円		
(率)	3.3%	3.5%	5.0%	3.6%		
配当金	30円	30円	30円	30円		

## 1. 既存顧客に対するメンテナンスシェア拡大

- ・ J Xグループ鹿島石油(株)殿 2014年度定期修理工事が完工。継続して引合。
- ・ 東燃ゼネラル石油(株)殿 タンク建替え新設工事および改造工事が終了。  
実績を評価され、浮き屋根補修工事などタンクメンテナンス業務を拡大中。
- ・ 鹿島地区において一般化学分野の顧客の日常保全工事を受注し常駐化。
- ・ 平塚地区において製品増産のための能力増強工事を受注。
- ・ エンジニアリング会社経由では、製油所のVRU設置工事やトラックターミナル出荷新設工事、老朽化対策工事としてのFCC再生塔更新工事などの大型工事を受注。

## 2. 新規分野・新規顧客の開拓

- ・ J X日鉱日石エネルギー(株)殿 大分製油所の2014年度定期修理工事が完工。  
以降、設備工事、タンク関連工事の引合が多く、工事量を拡大中。  
今年度には大分製油所構内に事務所を構える予定。
- ・ 大阪ガス(株)殿 泉北製造所のメンテナンスは実績を積み重ね。
- ・ 新規顧客からの自動車冷媒設備の大型建設工事は無事に完工。
- ・ F/S (フィジビリティスタディ) ・FEED業務からの参画  
一般化学、医薬、食品等の一般工業分野の建設工事案件の実績も積みあがる。

### 3. 海外事業の基盤強化

#### 【中国】

- ・中国において2件のEPC案件の内、1件が完工。残す1件は5月7日に竣工式終了。
- ・引き続き金山地区で2件建設工事を受注。

#### 【インドネシア】

- ・日系顧客を対象として、メンテナンス工事を施工中。

#### 【タイ】

- ・競争激化のため、小工事の受注に留まる。

#### 【ベトナム】

- ・中国などで実績のある顧客のベトナムでの新工場建設工事の受注が決定。

#### 【その他】

- ・海外従業員に対する教育、プロジェクト実施体制強化のための現地協力会社の調査など、各種の海外基盤強化策を推進。

この資料には、平成27年5月15日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。  
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

#### 【お問い合わせ先】

新興プランテック株式会社 〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地5 経営企画部 企画グループ  
TEL 045-758-1953 / FAX 045-758-1999  
E-MAIL : ir-info@s-plantech.co.jp URL : <http://www.s-plantech.co.jp>